

第2回景観を考える市民ワークショップ 結果概要

(1) 開催目的

- 市民目線での景観特性や課題を把握し、景観計画へ反映する。
各種調査による定量的な把握・分析に加え、小集団でのワークを通して本市の景観特性や課題に関する生の声を捉える。
- 本市におけるこれまで/これからの景観まちづくりを周知する。
本市がこれまでに行ってきた景観の取組や今後の方向性を共有する機会とする。
- 協働で進める景観まちづくりの入口として、市民の意識醸成を図る。
地域の景観的魅力や景観まちづくりについて、気付きや学びを得るとともに、「景観」というテーマを身近に捉え、関心や参画意識を高める機会とする。

(2) 開催概要

開催日時 令和6年11月4日(月) 午前9時45分～午後0時30分
会場 行田市商工センター ホール
参加者 26名

(3) 開催内容

- 事業概要説明(事務局説明)
…これまでの景観計画の検討経緯と景観計画の概要や方向性について説明を行った。
- 埼玉県景観アドバイザーによる講演
…【演題】官民連携で取り組む景観まちづくり まちづくり活動での景観資源の活かし方
【講師】埼玉大学大学院理工学研究科准教授 深堀 清隆氏
- グループワーク
…水・みどり、駅周辺、歴史・文化の3つのテーマに分かれ、昨年度のワークショップ結果を踏まえ、「好きな景観をもっと伸ばすには」「もったいない景観を改善するには」という視点で景観まちづくりのアイデアを付箋に書き出し、意見交換を行った。
- 発表
…ファシリテーターが各テーマの意見をまとめて発表し、全体で意見を共有。
- 講評
…景観アドバイザーより、各テーマのまとめとグループワークの講評をいただいた。

(4) ワークショップの様子

